

平成 23 年度 事務事業事後評価調書 (平成 22 年度事業)

整理番号 3 - 4

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		住民税国税データ連携対応システム導入事業				
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名		課税係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	久保田和孝		氏名	苫米地幸二
事業の概要		国税から受信した確定申告データを総合行政システム(住民税課税システム)に取り込むために、確定申告データの整理、補完等を行うシステムの導入及び住民税課税システムの改修を実施。				全体計画 (平成 22 年度 ~ 22 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,065 千円 事業費計 2,065 千円
実施方法		直営	民間委託	その他 ( )		
第 5 期 総合計画 (前期)		掲載事業	非掲載事業	優先度	B	
事業の位置付け		政策目標	5	ささえあい・雄武 ~ 協働によるまちづくりの推進		
		基本施策	24	効果的・効率的な行政経営		
		単 位 施 策	4	財政の安定化		
		事務事業の種類		自治事務	法定受託事務	
		その他計画・根拠等				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	1,953 千円	千円	千円
	合計	千円	千円	1,953 千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容 (Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	住民税課税における正確性の確保 税制改正に基づく対応	システム導入数 確定申告データ受信件数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	対応システムの導入及び既存の住民税課税システムの改修を実施することにより、確定申告のデータ整理等のほか、課税システムへのデータ取込みによる住民税課税事務の円滑な実施及び正確性の確保が図られる。	システム導入数	指標(指標計算式/解説) 目標値及び実績値		
			目標年度	22年度	
			目標値	1 台	
			実績値	1 台	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	・住民税課税における正確性の確保 ・効果的、効率的行政運営	確定申告データ受信件数	目標年度 22年度		
			目標値	1,240 件	
			実績値	1,240 件	
			達成度	100 %	
内 容 (どのような手段で何を行ったか)					
システムの導入及び課税システムの改修	既存の総合行政システムにおいて運用するため、総合行政システム導入業者を介し、住民税課税システムの改修及びシステムの導入を実施しました。				

### 3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	本システムの導入により、確定申告データの整理等、税賦課事務の効率化が図られているほか、課税システムへのデータ取込みにより正確性の確保が図られることから必要性あると思われます。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要 / 概ね必要 / 課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	電子化された確定申告書のデータ活用により、課税事務の効率化が図られ、正確性の確保が図られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効 / 概ね有効 / 課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本システムの導入にあたって、課税システムの導入業者に委託することにより、システム導入及び既存システムの改修が一体的に実施され事業費の抑制が図られているほか、効率的に作業が進められております。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的 / 概ね効率的 / 課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	確定申告データの電算管理等を行うものであり、また受益者負担を求めていることから、公平と判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	
公平 / 概ね公平 / 公平でない		

### 4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
国税データ連携の開始により、効率及び効果的に住民税の賦課作業が進んでおります。		

<b>今後の展開方向</b> (Action)	↓	↓	↓
	<b>終了</b> 本事業は、国税データ連携(申告データの伝送)開始に併せて実施されたシステム導入・既存のシステム改修でありますので終了となります。		
*展開方向の区分 継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更      終了      休止      廃止			

### 5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--